

令和6(2024)年度 広島工業大学

総合型選抜(学科課題型)ガイド

工学部

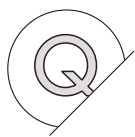
情報学部

環境学部

生命学部

※入学者選抜の詳細は出願前に必ず入学者選抜要項をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症対策については、
本学webサイト及びインターネット出願サイトに掲載してまいりますのでご確認ください。



何を準備すればいいの？

評価ポイントは？

総合型選抜(学科課題型)って、どんな入試？



一人ひとりが持っている**個性や魅力を重視**し、
本学で**自分の可能性を広げる意欲**を持つあなたに
最適な入試です。

個性や魅力を重視

さまざまな課題を通じ、一人ひとりの個性や魅力、今後の可能性を確認します。学科ごとに、大学での学びに関連した課題を実施するので、本学で学ぶ意欲を持った方に最適な選抜です。

自分の可能性を広げる意欲

出願時に提出する「学びの計画書」を基に、将来の目標やその理由、本学でこれから取り組みたい内容について、個人面接やグループ面接を通じて確認します。

※総合型選抜(学科課題型)に出願し不合格となっても、12月に実施される総合型選抜(自己推薦型)へ出願することができます。

評価するポイント

例えば、あなたのこんな力を評価します

理解力

協調性

協働性

構想力

コミュニケーション能力

思考力

情報収集力

将来構想

表現力

問題解決能力

どんなポイントが評価されるか、学科ページで確認してみましょう。

入試対策講座で詳しくチェック！

オープンキャンパスで入試対策講座を開催。
ここでしか聞けない、入試に対するポイントを
各学科の先生が詳しく解説します。

日 時
令和5年
7月16日(日)・8月20日(日)

詳しくは本学web
サイトへアクセス



選考方法

数学の基礎力を
測る適性検査
50点

適 Point 試験科目

工学部 数学I・数学II / 情報学部・環境学部・生命学部 数学I

各学科の課題
100点

課 Point 多様な能力や資質を多面的に評価
各学科の課題

各学科が用意したバラエティに富むプログラム※により、受験生の多様な能力や資質を評価します。

※模擬講義、実験、レポート作成、模型製作、プレゼンテーション(発表)、グループ討論(活動)などの各学科の特徴を活かし創意工夫された課題。

「学びの計画書」
に基づく面接
100点

人 Point あなたの今までとこれからを綴る
学びの計画書

目標及び目標到達に向けた大学での学修計画を綴った「学びの計画書」を基に面接を行うことで、受験生の意欲と今後の可能性を評価します。

調査書
50点

Point 調査書評価票 ★

課外活動、社会活動、資格、海外留学を評価します。

300点 満点

課題を通して受験生の今後伸びてであろう将来の能力を評価します。学科により評価ポイントは異なりますが、受験者の多様な能力、資質や意欲を中心に評価します。

★ 調査書評価票の評価項目

区 分	内 容	点数※1
A 課外活動・生徒会等※2	部活動・その他の団体	10点
	役職(副部長以上)	20点
	受賞・入賞	20点
B 社会活動※2	定期的・継続的・集中的なボランティア活動又は社会活動	10点
	単発的なボランティア活動又は社会活動	5点
C 資格※2	調査書評価票【資格】別表の評価(A)に定める資格・検定名	20点
	調査書評価票【資格】別表の評価(B)に定める資格・検定名	10点
D 海外留学	海外留学経験(高等学校等在学中)滞在期間2週間以上	10点

※1 採点合計は、50点を最大とします。

※2 複数該当がある場合は、点数が高いものを評価します。

該当する資格は
こちらをご確認ください



募集人員

工学部 50人	情報学部 20人	環境学部 16人	生命学部 10人
電子情報工学科 6人	情報工学科 10人	建築デザイン学科 10人	生体医工学科 5人
電気システム工学科 8人	情報コミュニケーション学科 10人	地球環境学科 6人	食品生命科学科 5人
機械システム工学科 11人			
知能機械工学科 8人			
環境土木工学科 6人			
建築工学科 11人			

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）（令和5年度実績） ※ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

大学

広島工業大学は、「建学の精神」及び「教育方針」に則り、ディプロマ・ポリシーに定めた学修到達目標を実現できる潜在的な能力を有した学生を求めて、大学院各専攻及び各学部の入学者受入れ方針を定

めます。この方針に基づき、能動的かつ主体的に行動する学生を受入れ、特色ある教育・研究を展開して、社会に奉仕する倫理観ある技術者を育成します。

工学部

工学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、工学に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

〈知識・技能〉

■工学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

〈思考力・判断力・表現力等の能力〉

■工学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

〈主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度〉

■工学技術における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

●入学者選抜の方針

工学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学者選抜制度を設けています。

■総合型選抜（学科課題型）では、基礎力を測る適性検査、調査書、学科課題及び面接により、工学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■総合型選抜（自己推薦型）では、基礎力を測る適性検査及び面接により、工学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（指定校制）では、基礎力を測る適性検査、調査書及び面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（公募制）では、適性検査により基本的な学力を評価するとともに、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価します。

■一般選抜（A日程及びB日程）では、記述式を含む学力試験により工学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

■一般選抜（C日程）では、記述式総合問題により技術を学ぶ上で必要な科学的な能力を評価するとともに、面接により、工学を学びたいという具体的かつ強い意志を評価します。

■大学入学共通テスト利用選抜では、大学入学共通テストの成績により工学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

情報学部

情報学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、情報に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

〈知識・技能〉

■情報学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」「国語」「地理歴史、公民」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

〈思考力・判断力・表現力等の能力〉

■情報学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

〈主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度〉

■地域社会や国際社会における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

●入学者選抜の方針

情報学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学者選抜制度を設けています。

■総合型選抜（学科課題型）では、基礎力を測る適性検査、調査書、学科課題及び面接により、情報学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■総合型選抜（自己推薦型）では、基礎力を測る適性検査及び面接により、情報学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（指定校制）では、基礎力を測る適性検査、調査書及び面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（公募制）では、適性検査により基本的な学力を評価するとともに、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価します。

■一般選抜（A日程及びB日程）では、記述式を含む学力試験により情報学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

■一般選抜（C日程）では、記述式総合問題により技術を学ぶ上で必要な科学的な能力を評価するとともに、面接により、情報学を学びたいという具体的かつ強い意志を評価します。

■大学入学共通テスト利用選抜では、大学入学共通テストの成績により情報学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

環境学部

環境学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、自然環境、社会環境及び人間環境に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

〈知識・技能〉

■環境学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」「国語」「地理歴史、公民」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

〈思考力・判断力・表現力等の能力〉

■環境学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

〈主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度〉

■自然環境、社会環境及び人間環境における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

●入学者選抜の方針

環境学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学者選抜制度を設けています。

■総合型選抜（学科課題型）では、基礎力を測る適性検査、調査書、学科課題及び面接により、環境学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■総合型選抜（自己推薦型）では、基礎力を測る適性検査及び面接により、環境学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（指定校制）では、基礎力を測る適性検査、調査書及び面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（公募制）では、適性検査により基本的な学力を評価するとともに、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価します。

■一般選抜（A日程及びB日程）では、記述式を含む学力試験により環境学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

■一般選抜（C日程）では、記述式総合問題により技術を学ぶ上で必要な科学的な能力を評価するとともに、面接により、環境学を学びたいという具体的かつ強い意志を評価します。

■大学入学共通テスト利用選抜では、大学入学共通テストの成績により環境学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

生命学部

生命学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、健康な社会の形成に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めています。

〈知識・技能〉

■生体医学又は食品生命科学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

〈思考力・判断力・表現力等の能力〉

■生体医学又は食品生命科学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

〈主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度〉

■健康な社会の形成における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

●入学者選抜の方針

生命学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学者選抜制度を設けています。

■総合型選抜（学科課題型）では、基礎力を測る適性検査、調査書、学科課題及び面接により、生

体医学分野又は食品生命科学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■総合型選抜（自己推薦型）では、基礎力を測る適性検査及び面接により、生体医学分野又は食品生命科学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（指定校制）では、基礎力を測る適性検査、調査書、面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を総合的に評価します。

■学校推薦型選抜（公募制）では、適性検査により基本的な学力を評価するとともに、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価します。

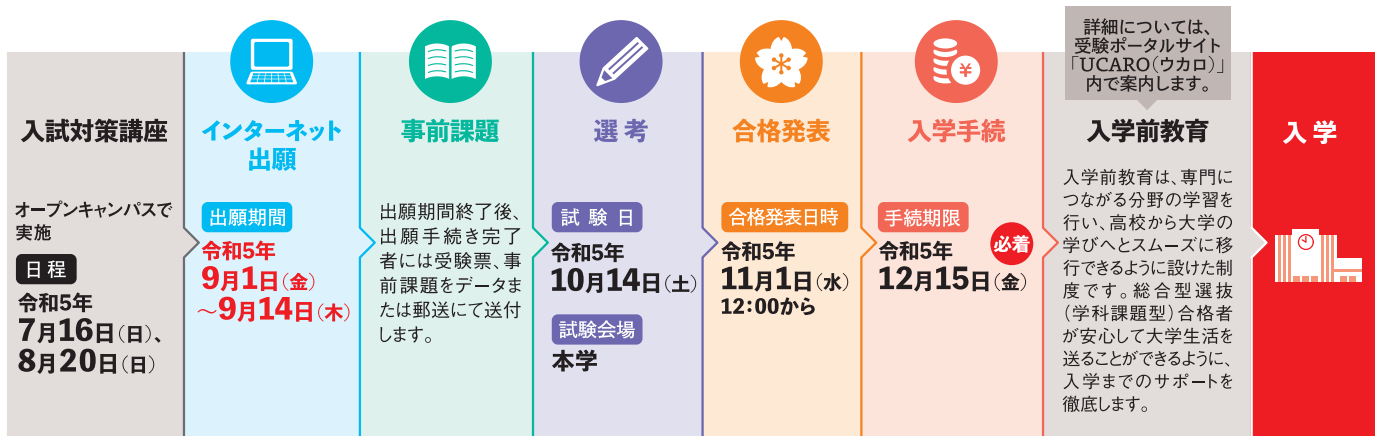
■一般選抜（A日程及びB日程）では、記述式を含む学力試験により生体医学又は食品生命科学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

■一般選抜（C日程）では、記述式総合問題により技術を学ぶ上で必要な科学的な能力を評価するとともに、面接により、生体医学又は食品生命科学を学びたいという具体的かつ強い意志を評価します。

■大学入学共通テスト利用選抜では、大学入学共通テストの成績により生体医学又は食品生命科学を学ぶ上で必要な基礎科目の学力を評価します。

出願方法

出願から入学までの流れ



出願資格 次の項目のすべてに該当する者

1. 本学を専願し、本学での学修に意欲を有する者
2. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者
 - (2) 海外留学により外国の高等学校で通常の学校教育課程12年以上を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
 - (3) 文部科学大臣指定の在外教育施設を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者
 - (4) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (5) その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認められる者

出願にあたっての留意事項

- (1) 出願はインターネットを用いてwebサイトからの入力となります。インターネットの環境が整っていない方は、本学までご連絡ください。
- (2) 氏名や住所等の個人情報を入力する際に、JIS第1水準、JIS第2水準以外の漢字は登録できません。代替の文字を用いて入力してください。なお、学生証は出願時に入力された文字を用いて作成します。〔高松→高松 山崎→山崎〕
- (3) 提出書類に不備があるものは、受理できない場合がありますので、十分注意の上、提出してください。
- (4) 提出された書類及び納入された入学検定料は、お返しできません。
- (5) 提出書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消します。
- (6) 身体に障害がある方や健康面に不安のある方、その他受験時や入学後、大学において何らかの対応が必要な方は、出願登録受付開始前の早い時期に本学までご相談ください。
これは、受験時や入学後の対応を事前に知るためのものであり、入学者選抜の可否には全く関係ありません。
- (7) **合格した場合は、必ず入学することが条件**となりますので、十分注意して出願してください。

出願期間 令和5年9月1日(金)～9月14日(木)(出願登録期限は最終日の17時)

出願に必要なものについて

■メールアドレス ■パソコン又は、スマートフォン(インターネット接続済) ■デジタル写真データ

出願の流れについて

① インターネットで出願登録を行う
9月14日(木)17:00まで
本学webサイトからアクセスし、
出願情報を登録する。

② 入学検定料の支払い
9月14日(木)19:00まで
支払い方法はP.04を
参照してください。

③ 提出書類の郵送
9月14日(木)消印有効
必要な書類を確認し郵送する。

※**①～③の手続きを
完了・確認後、
受験可能となります。**

入学検定料 30,000円

※入学検定料のほかに支払手数料440円(税込)が必要です。

入学検定料支払期間と支払方法

令和5年9月1日(金)～9月14日(木)(支払期限は最終日の19時)

コンビニエンスストア

クレジットカード

金融機関ATM

(Pay-easyマークの付いているATM)

インターネットバンキング

提出書類

令和5年9月1日(金)～9月14日(木)(郵送は最終日消印有効／本学窓口持参は最終日の17時)

提出書類等は、出願期間最終日の消印有効です。簡易書留速達で送付してください。なお、出願期間(最終日消印有効)を過ぎた提出書類は、受付できませんので、ご注意ください。提出書類は、本学への持込みも可能です。

【提出先】〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 宛

提出書類	内 容
①顔写真データ (出願登録時にアップロード)	インターネット出願の手順の中でアップロードしてください。 - 事前に、スマートフォン、デジタルカメラなどで撮影したデジタル写真を準備してください。 (写真データの拡張子はjpeg又はjpg、サイズは10MBまで) - 写真は、上半身、無帽、正面向き、背景が無地のものを使用してください。 - 最近3か月以内に撮影したもの。 - 試験当日の本人確認に使用しますので、試験当日と著しく異なってはけません。
②学びの計画書	本学指定の様式をホームページからダウンロードし、本人自筆で作成したもの。 (作成にあたっては様式にある説明をよく読んでください。)
③調査書	ア)文部科学省指定様式により、出身高等学校(中等教育学校)長が作成し厳封したものを提出してください。 イ)高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書を提出してください。
④調査書評価票	本学指定の様式をホームページからダウンロードし、調査書記載責任者が作成し、厳封したものを提出してください。 (作成にあたっては様式にある説明をよく読んでください。)

進路指導の先生へのお願い

調査書及び調査書評価票の作成について

文部科学省の調査書記入上の注意事項等に基づき、次のとおり作成をお願いします。

- 調査書及び調査書評価票は厳封のもの(開封無効)。
- 調査書記載の成績
 - 令和6年3月までの卒業見込者の調査書は、3年1学期末(前期末)以降に算出した成績が入ったもの。
 - 既卒者の調査書は、卒業年度終了時までの成績が入ったもの。
- 調査書及び調査書評価票記載事項訂正の場合は、訂正印のあるもの。

(注) 1.「指導上参考となる諸事項」欄に部活動の状況を記入する際は、その活動年数及び役職(部長、副部長など)も記入してください。

2.健康面において、就学上何らかの対応が必要な場合は次のとおりとします。

- その状況について、本学へ必ず事前にご連絡ください。
- 書類提出の際、本人の「健康状況」を記したもの(様式自由)又は、健康診断書を必ず添付して提出してください。
これは、入学後の対応を事前を知るためで、可否には全く関係ありません。

受験票及び事前課題の送付

- 出願期間終了後、出願手続き完了者には、「受験票」「事前課題」を受験ポータルサイト **UCARO** または郵送にて送付します。
 - 9/25までに届かない場合は、教学支援部(0120-165215)へご連絡ください。
 - 「受験票」に記載された内容(受験日・受験学科)をよく確認し、間違いがある場合は速やかに教学支援部(0120-165215)へご連絡ください。
 - 「事前課題」は試験当日必ず持参してください。また、試験当日に「受験票」の記載内容を確認できるようご準備ください。
- ※試験時間中以外は、スマートフォン等の電子機器を使用してもかまいません。

試験日等・合格発表・成績開示



試験日等

試験日 令和5年10月14日(土) 集合時間 9:10 試験会場 広島工業大学 (広島市佐伯区三宅2-1-1)



合格発表 令和5年11月1日(水)12:00から

(1) 受験ポータルサイト **UCARO** にて、合格発表日の12:00から合否の発表を行います。

なお、本学への電話やメール等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(2) 合否に関する書面での通知は行いません。

合格した場合の合格通知等の書類は **UCARO** よりダウンロードしてください。



成績開示

総合型選抜(学科課題型)の成績は、開示しません。

入学者選抜の結果の通知について

- 入学者選抜の結果を在籍学校又は出身学校へ通知します。
この通知は、今後の進路指導の参考として活用されることを目的としています。
- 上記の「結果通知」を承諾できない場合は、出願内容登録時に「結果通知を承諾しない」の選択をしてください。ただし、承諾の有無に関わらず氏名は通知します。

受験生の個人情報の取扱いについて

入学者選抜に際し、受験生から取得する個人情報は、次のとおりに取り扱います。

1. 利用目的

①入学者選抜の準備及び実施 ②合否の通知、発表 ③合格者への入学手続の案内 ④合格者への入学前教育の案内 ⑤合格者への入学に関する案内(ノートパソコン購入、傷害保険等) ⑥入学後に大学が使用する学生個人情報への移行

2. 個人情報の管理

本学は、個人情報を不正に利用されたり、漏洩・紛失・滅失・改ざん等がないよう厳重に管理します。

3. 外部委託

本学は、各種送付物や、データ入力等に関して、個人情報の取扱いを含む業務の全て、又は一部を外部の事業者へ委託することがあります。その際、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結することを義務付けています。

4. 入学者選抜の統計資料について

受験生から取得した個人情報は、各種の統計処理を施した上で、今後の入学者選抜の調査・研究の資料として利用するほか、進学希望者への情報公開に使用します。なお、公開される統計資料により個人が特定されることはありません。

5. 第三者への提供について

受験生が上記「入学者選抜結果の通知について」において、第三者への提供を同意した場合、受験生の合否結果を出身学校に提供します。

入学手続方法・納入金等・学修奨励金

入学手続方法

入学手続は、入学手続時納入金の納入、受験ポータルサイト **UCARDO** による入学者情報の入力及び入学手続書類等の提出を所定の期日までに行なうことにより完了します。

■入学手続時納入金の納入… **UCARDO** 内の入学手続ページより、ネットバンク、ATM(Pay-easy)又はクレジットカードにて納入してください。

■入学者情報の入力… **UCARDO** 内の入学手続情報入力画面にて入力してください。

■入学手続書類等の提出… **UCARDO** 内の書類ダウンロード画面から必要書類をダウンロードしてください。

提出書類は、入学手続要項に記載の方法により本学に送付または持参してください。

入学時納入金の納入、入学手続情報の登録、入学手続書類の提出期限

令和5年12月15日(金)必着

納入金等

生体医工学科以外の学科

※納入金は、令和5年度実績を掲載しています。

			初年度納入金	入学手続時納入金	納入期限	1年次後期納入金	納入期限
入 学 金			250,000円	250,000円	令和5年12月15日(金)	――	――
授 業 料			(年額) 1,120,000円	(前期分) 560,000円		(後期分) 560,000円	令和6年10月末日
施設設備資金			(年額) 220,000円	(前期分) 110,000円		(後期分) 110,000円	
諸 会 費	後援会	入会金	5,000円	5,000円		/	
		会 費	(年額) 5,000円	5,000円			
	体育会	入会金	1,000円	1,000円			
		会 費	(年額) 5,000円	5,000円			
	自治会	入会金	1,000円	1,000円			
		会 費	(年額) 5,000円	5,000円			
	同窓会	入会金	3,000円	3,000円			
合 計			1,615,000円	945,000円	――	670,000円	――

生体医工学科

			初年度納入金	入学手続時納入金	納入期限	1年次後期納入金	納入期限
入 学 金			250,000円	250,000円	令和5年12月15日(金)	――	――
授 業 料			(年額) 1,120,000円	(前期分) 560,000円		(後期分) 560,000円	令和6年10月末日
施設設備資金			(年額) 320,000円	(前期分) 160,000円		(後期分) 160,000円	
諸 会 費	後援会	入会金	5,000円	5,000円			
		会 費	(年額) 5,000円	5,000円			
	体育会	入会金	1,000円	1,000円			
		会 費	(年額) 5,000円	5,000円			
	自治会	入会金	1,000円	1,000円			
会 費		(年額) 5,000円	5,000円				
同窓会入会金			3,000円	3,000円			
合 計			1,715,000円	995,000円	――	720,000円	――

生体医工学科は学外における臨床実習に必要な費用(7万円程度)が、「臨床実習費」として3年次後期に別途必要です。
また、臨床実習先への交通費や宿泊費は自己負担となります。

全学科共通事項

- ・授業料は入学時の額を在学期間中適用し、施設設備資金は2年次以降は入学時の額から年額40,000円増額します。
- ・教材費等が別途必要となります。
- ・ノートパソコンを必携としておりますので、推奨品の購入をお願いしています。
- ・4年次後期には、同窓会会費18,000円が必要です。
- ・同一年度の入学者選抜において、上記納入金等を納入した者が再度本学を受験して合格し入学しようとする場合、納入済み納入金の振替が可能です。合格発表後、教学支援部(0120-165215)へご連絡ください。

学修奨励金

入学者選抜の結果に応じて学費の一部を給付します。

選考基準、給付額、期間は次のとおりです。

選考基準 学科内の入試得点率が1位で学科の推薦がある入学生

給付額 年額250,000円給付 **期 間** 1年次



学びの内容

時代をリードする最先端の
電子情報技術者を育成する。

私たちはたくさんのセンサと小型コンピュータに囲まれて生活しています。それらは、私たちの生活にはなくてはならないスマートフォンから完全自動運転の実現まで、多岐にわたります。こうした最先端の半導体などを基本とした電子技術・情報技術に対応できるよう、電子デバイス、回路・通信、情報ネットワークの3つの分野を柱に、IT社会を支える最先端の電子情報技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する2つの課題に関して、それぞれA4用紙2枚程度にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ①論理性・読解力／文章を読解して論理的に思考できるか
- ②分析・表現力／図を見て考察した結果を文章で表現できるか
- ③空間把握能力／作図を解くための柔軟な思考ができていないか
- ④多様な発想力／作図を解くための複数の解き方を見出すことができていないか
- ⑤コミュニケーション能力／グループで相談しながら実習を行うことができていないか
- ⑥問題解決能力／グループで問題を解決することができていないか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①コミュニケーション能力／電子工学、情報工学への関心度、大学で力を入れてやってみたいこと、将来展望に対する質問に答えられているか
- ②表現能力／電子工学、情報工学への関心度、大学で力を入れてやってみたいこと、将来展望について、相手に分かり易く伝えることができていないか
- ③問題解決能力／将来の目標達成のために、大学で力を入れてやってみたいことに対して、どのような方法で実現しようとしているか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

11:00～12:00



課題1の実施(個別)

電子情報の分野では、理解力と柔軟な思考が必要。

- 文章を読み、多項式の値の変化を作図。
- 電気・磁気の基本現象について文章を読みながら思考。

13:10～14:10



課題2の実施

Society5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」における電子情報の役割について。

- 説明を聞きながら、簡単な実習をグループで行う。

14:20～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1人当たり15分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

新時代の社会基盤づくりを担う
電気のスペシャリストを育成する。

カーボンニュートラルや再生可能エネルギーなどエネルギーシステム分野の新技術に加え、情報通信システム分野、コンピュータシステム分野でも目覚ましく技術が進歩しています。先進的エネルギーや無線通信、そしてコンピュータ制御を中核とした幅広い電気工学を身につけた、情報化時代の社会基盤を創る電気エンジニアを育成します。

事前課題及び事前準備

- 【A方式】本学から送付する課題に関して調査し、内容をA4用紙1枚程度にまとめる。
【B方式】本学から送付する資料をよく読み、例題を解いて内容を理解する。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題（A、B方式共通）

- ①理解力／講義及び実験内容を理解できるか
- ②思考力／説明に基づいて自ら思考し、提示される問題に解答できるか
- ③協働力／グループワークを通じて他者と協働し、共通の課題に取り組むことができるか
- ④要約力／授業や実験を通じて、ワークシートを作成することができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①意欲／本学で学ぶ強い意欲が具体的に説明できるか
- ②学科理解度／本学科の専門教育分野を理解しているか
- ③表現力／本学科の専門分野に関連する技術に対して、自分の好奇心や探求心を具体的に表現できるか
- ④構想力／本学科での具体的な取り組みを自分の将来に結び付けることができるか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

【A方式（授業に基づく方式）】

11:00～12:00



課題1

- 事前課題に関連する講義を受けて個人ワークを実施

13:00～14:30



課題2

- 課題1に関連する課題についてグループで意見を出し合い、課題解決に挑戦

【B方式（実験を伴う方式）】

11:00～12:00



課題1

- 事前課題のまとめ
- 事前課題の内容を理解しているか個人ワークを通じて確認

13:00～14:30



課題2

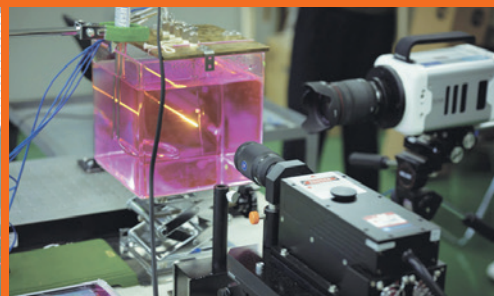
- 課題1に基づく内容をブレッドボードで実験
- グループワークで課題に挑戦

15:00～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1人当たり20分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

新たなものづくりに挑戦できる
エンジニアを育成する。

機械力学、材料力学、熱力学、流体力学の4つの力学の基礎知識を中心に、家電から自動車、医療機器、ロボット、航空宇宙などあらゆる分野に精通する知識や技術を修得することができます。また、技術革新の方法や計画を立てる力、グローバルな視点、新しいものづくりにチャレンジする力などを兼ね備えたエンジニアを育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する資料に関して調査し、A4用紙2枚程度にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ①観察力／試料(実験結果)の相違点をとらえ、記録することができるか
- ②説明力／記録した資料をグループで共有するため、他者の意見を聞き、自分の意見を伝えることができるか
- ③理解力／聴講内容を理解することができるか
- ④思考力／聴講内容と観察結果を関連付け、他の条件の結果を推察できるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①学科理解度／機械システム工学科で学ぶことを正しく理解しているか
- ②応答の的確性／質問に対して的確な回答ができているか
- ③将来構想／目指すべき技術者像をしっかりと持っているか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20(50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

11:00～12:00



実験観察の実施

- 機械工学に関する実験を体験し、実験で生成された試料(実験結果)の観察・記録を行う。
- 記録した資料についてグループで意見交換を行う。

13:00～14:30



実験内容に関する説明の聴講

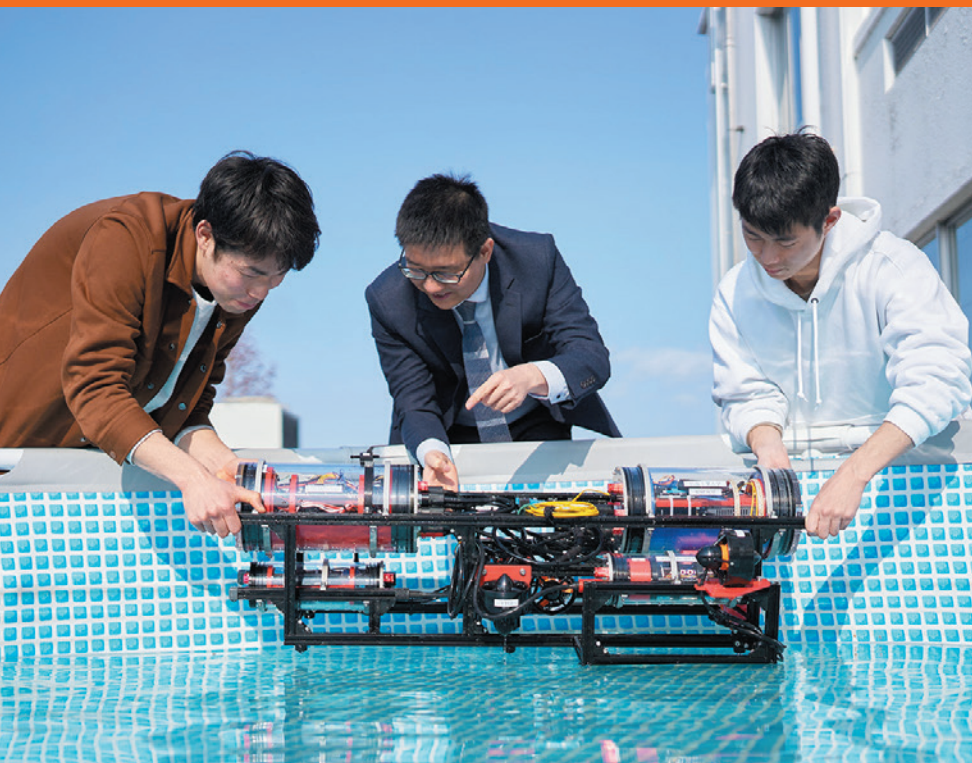
- 実施した実験内容に関する理論の説明を聴講する。
- 聴講した内容と記録した資料との関係を推察する。

14:40～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1人当たり15分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

未来を支えるものづくりに知的に対応できる技術者を育成する。

ものづくりの知能化技術に必要な物理・数学・機械・電気電子・情報の知識や、機械工学を基礎とした設計・制御・生産システムの知能化技術を身につけることができます。また、そうした知識や技術を礎に、課題の発掘や課題を解決するための最適な方法を選択できる力を磨き、新たな機械・機器を設計・生産・制御できる技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関して調査し、A4用紙2～3枚にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ①ものごとへの関心力・質問力／ものごとに関心を持ち、探求しようとする姿勢が見られるか、また積極的に質問できるか
- ②要点をまとめる力／リアルタイムに要点をまとめてメモに書き留めることができるか
- ③文章作成能力／書き留めたメモをもとに文章を作成できるか
- ④発言力・傾聴力／他者の発言や質問を傾聴し、内容に応じて適切に発言できるか
- ⑤協調性、コミュニケーション能力／他者と協調し、安定的にコミュニケーションを取ることができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①希望を明瞭に述べる力／広島工業大学、及び知能機械工学科を志望する理由を明瞭・明確に述べるができるか
- ②展望を明瞭に述べる力／知能機械工学科のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づいて、自分はどのように大学で学んでいくかを、明瞭・明確に述べるができるか
- ③自分を見つめる力／自分の長所・短所を自覚し、長所をどう伸ばし、短所をどう克服するか、普段から考えているか
- ④将来を計画する力／将来自分が進みたい道が明瞭で、それに向けて計画的に努力しているか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

11:00～12:20



知能機械工学科で行われている研究のための実験施設を見学

- 複数の実験室を見学し、メモを取る。
- 実験内容や施設に関して質問する。

12:25～12:50



見学した内容を文章にまとめる

13:20～14:20



グループワーク

- 午前中の実験施設の見学内容を基にして指定された内容のグループワークを行う。

14:30～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1グループ当たり15分程度のグループ面接を行う。
なお、志願者数によっては、個別面接に変更する場合があります。



学びの内容

環境に配慮した社会の土台をつくるエンジニアを育成する。

堤防が整備された安全な河川。人やものの動きと経済を支える道路や鉄道。決して止められない水道・電力・通信施設。人々の生命と財産を守る防災施設。私たちの安心で豊かな暮らしには、それを支える「社会基盤施設」が欠かせません。環境土木工学科では、このような「社会基盤施設」の計画・設計・施工・維持管理を学び、さらに新しいニーズに対応した知識や技術を幅広く修得し、地域や生活を支え、環境面にも配慮できるエンジニアを育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関し、A4用紙2枚にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ①問題解決能力／問題解決に至るためのプロセスを論理的に決定することができるか
- ②実行技術力／目的に至るプロセスを実行するために適切な方法を選択し、実行することができるか
- ③コミュニケーション能力／自分の考えを的確に伝え、他者の意見を理解することができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①環境土木への理解度／環境、土木工学が社会に対してどのように貢献しているのかを理解しているか
- ②将来の目標／将来の目標をきちんと持っているか
- ③学びへの理解度／将来の目標に対して、本学科で学ぶべきことを理解しているか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

10:45～11:00

●課題についての事前説明

11:00～12:00



学科が指定する課題に挑戦

●任意多角形の測量と応用問題

13:10～



「学びの計画書」に基づく面接

●1人当たり15分程度の個別面接

なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。

※時間は予定であり受験者数により変更する場合があります。



学びの内容

安全で快適な建物を創造できる
建築技術者を育成する。

建築に関する最新の技術や背景となる歴史・文化・風土を学ぶとともに、安全性、機能性、快適性、経済性に関する諸問題を解決する力と、協調性とリーダーシップを発揮する力を磨く教育を行っています。そのうえで、建物の計画・設計から施工、そして完成後の維持管理に至るまでの総合的な知識を備えた建築士を育成しています。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関し、A4用紙2枚にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

課題1:プレゼンテーション資料の作成

- ①理解力／与えられた課題内容を正確に理解して資料を作成できるか
- ②要約力／課題内容に対する自分の考えを的確にまとめられるか
- ③建物への興味／建物への関心があるか
- ④表現力／自分の考えを他者に対して分かりやすく、的確に表現できるか

課題2:プレゼンテーションと質疑討論

- ①プレゼンテーション／プレゼン資料を的確に活用した説明ができるか
- ②質疑討論／グループ内の質問や意見において的確に説明や提案ができるか
- ③要約力／自分と他者のプレゼン・質疑討論の内容を的確にまとめられるか
- ④表現力／当日課題のまとめとして分かりやすく、的確に表現できるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①本学科に対する理解度／本学科の学びの内容を正確に理解しているか
- ②学修意欲と将来構想／大学で学びたいという意欲があり、入学後4年間の学び方及び就職する分野に対して、的確な将来構想を持っているか
- ③応答の的確性／質問に対して、適切な応答をすることができるか
- ④責任感／技術者として必要な責任感について理解しているか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I・数学II」

11:10～11:50



プレゼンテーション資料の作成

- 事前課題に対するプレゼンテーション資料を作成する。(事前課題の持ち込み可)

11:55～12:55



プレゼンテーション、
質疑討論及びレポート作成

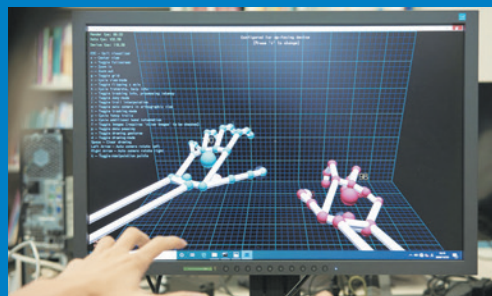
- 少人数のグループにてプレゼンテーション資料を用いてプレゼンテーションを行い、互いに質疑討論を行う。自他のプレゼンテーションと質疑討論の内容を使ってテーマに対する自分の考えをまとめてレポートを作成する。

12:55～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1人当たり20分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

革新し続ける情報社会を支える
情報技術者を育成する。

情報通信の基本要素となるコンピュータ、ネットワーク、インタフェースの各領域の専門知識・技術を、順次的かつ体系的に学ぶ教育を行っています。社会・経済活動を支えている情報通信技術は常に革新を続けています。IoT及びAIなどの最新の情報通信技術を応用し、情報社会から超スマート社会への変革の一翼を担う技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する自習用資料を読んで事前学習を行い、内容をよく理解した上で演習問題を解き、解答をA4用紙1枚程度にまとめる。



評価 POINT



選考内容

学科独自課題

課 個別課題

- ① 理解力／講義のポイントとキーワードを正しく捉えて理解しているか
- ② 思考力／講義で得た知識を使って応用問題を解くことができるか
- ③ 表現力／伝えたい事柄について要点をまとめ、わかりやすく伝えることができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ① 基礎学力／情報工学を学ぶために必要な基礎勉強に励んでいるか
- ② 学科理解度／本学科の学びの内容を正確に理解しているか
- ③ 将来構想と学修意欲／卒業後の自分の将来像を持ち、そのために何を学びたいかという明確で計画的な学修意欲を持っているか

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:00～12:30



講義と演習

- アルゴリズムとその記述方法、動作確認についての講義を受ける。
- 実際にアルゴリズムを記述し、その動作をトレースして確認する演習に取り組む。

13:30～15:00



課題と講義まとめプレゼンテーション資料作成

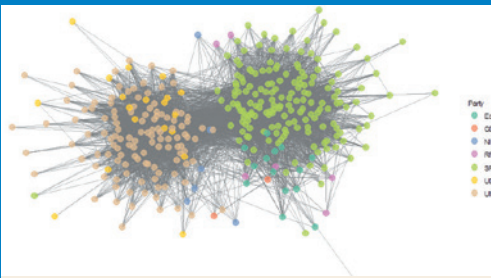
- 応用問題について、アルゴリズムを記述してその動作を確認する課題に取り組む。
- 講義内容の要点をまとめてプレゼンテーションを行うための資料をスケッチブックを使って作成する。

15:00～



プレゼンテーションを含む「学びの計画書」に基づく面接

- 講義をまとめた「3分間プレゼンテーション」を行う。
- 「学びの計画書」についての面接を行う(1人当たり20分程度の個別面接)。なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

情報を利活用し、社会的価値を創造できる技術者を育成する。

情報処理は長らくの間、単純な計算を高速にくり返すことができる能力が活かされてきました。それが今日では、画像データから特徴を見つけ出すなど、人間に近い高度な処理ができるようになってきました。また、利用者也製品やサービスの性能を求めてきましたが、「ユーザー体験」すなわち、知らないうちに感じている楽しさ、心地よさ、そして幸福感を求めるようになってきています。このような時代において情報がどのように社会に貢献できるかを考え、提案できる技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関して調査し、A4用紙2枚程度にまとめる。



評価 POINT



選考内容

学科独自課題

課 個別課題

- ①情報伝達力／聞き手の立場・自分の特徴を踏まえた上で、適切なやり方を用いて、配付資料（動画像を含む）の内容を聞き手が理解できるように伝えることができるか
- ②プレゼン資料デザイン力／配付資料（動画像を含む）をもとに内容をまとめ、文字の色や大きさ、文字や図の配置など、どうしてそういうプレゼンスライドにデザインしたのかを説明できているか
- ③グループワークコミュニケーション能力／主体的な独自・新規の発言ができ、他者の意見に対する受容の発言・態度ができているか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①将来計画力／自分の将来に対して、ビジョンを持つことができるか
- ②情報収集力／志望学科の学修内容を情報収集し、理解することができるか
- ③学修意欲、志望動機／大学での学修意欲を持ち、学科に対するしっかりとした志望動機を持つことができるか

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:00～12:00



プレゼン資料を作成しよう

●配付する資料（動画像の視聴を含む）をわかりやすいプレゼンスライドにまとめる。

※次の①から④の順番、時間は、志願者数によって変更することがあります。

13:00～(45分)



①グループワークで解決策を提案しよう

●学科が用意した情報コミュニケーションに関する課題について解決策をまとめる。

13:45～(個別:1人5分程度)



②プレゼン資料に用いた技法を説明しよう

●午前中に作成したプレゼンスライドに用いたデザイン技法について説明する。

14:30～(個別:1人5分程度)



③相手にわかりやすく伝えよう

●午前中に作成したプレゼンスライドを用いて、人を惹きつけるための非言語を効果的に取り入れてプレゼンテーションを行う。

15:15～



④「学びの計画書」に基づく面接

●1人当たり5分～10分程度の個別面接

なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

質の高い建築空間を創造できる
スペシャリストを育成する。

近年の高度に発達した技術社会のなかで、建築分野では、自然環境との持続的共生を基本にしながら、生活の質と心豊かな居住環境を実現することが求められています。建築デザイン学科では、一級・二級建築士などの国家資格取得に向けた高い知識・技術に加え、「インテリア・木工」「デジタルデザイン」「建築」についても深く学びます。人の暮らしに身近な生活を総合的にプロデュースし、デザインできる人材を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関して調べたうえで、「自分の住みたい家」の構想をA4用紙2枚以内にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ① **思考力、判断力、表現力**／本学から送付する課題に関して調べたうえで、「自分の住みたい家」を家族構成・ライフスタイル・安全性など多角的に思考できているか、その構想を模型という手段によって表現する力を有しているか
- ② **主体性、多様性、協働性**／簡潔かつ分かりやすく他者に伝える力を有しているか。討論の中で発生する種々の課題を理解し、解決に向けた主体的な意見を述べることができるか。
他者の意見を多面的に聞き取り、他者の意見を尊重しながら、創造的かつ協働的解決を導き出せる力を有しているか。



「学びの計画書」に基づく面接

- ① **思考力、判断力、表現力、主体性**／明確な自身の将来の目標と、学科での学びの取り組みが関係付けられ、具体的に表現できているか。自身の将来の目標が明確で、目標に向かって計画的かつ主体的に学ぶ意欲があるか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20(50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:00～12:50



「自分の住みたい家」の模型づくり

「自分の住みたい家」計画書に基づき、模型で表現する。

13:45～14:45



グループ討論

- 「自分の住みたい家」についてのグループ討論
(1グループ20分程度)
1グループ5人程度で「自分の住みたい家」について討論する。

14:50～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1グループ当たり20分程度のグループ面接(1グループ5人程度)を行う。
なお、志願者数によっては、個別面接に変更する場合があります。



学びの内容

地球環境問題に対応できる実践力を備えたプロフェッショナルを育成する。

これからの時代は、生態系のバランスを保つため、地球環境の複雑な仕組みや地球規模の現状把握を行い、環境共生型・循環型社会を構築していく必要があります。地球環境学科では、大気水圏、地圏、防災などの「地球科学分野」、生態系保全、ピオトープランニング、環境分析・保全対策などの「環境共生分野」、地球環境観測や空間情報システムなどの「環境情報分野」の3分野を理解し、地球環境問題に結びつく観測・分析・評価・計画ができる実践力を備えた人材を育成します。



事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関して調査し、A4用紙2枚程度にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

〈事前課題に基づく対話型授業〉

- ①関心、意欲、主体性／良好な態度で授業に参加し、積極的に発言や質問をすることができるか

〈対話型授業に関するミニレポート〉

- ②思考力、文章表現力／論点を正確に把握し、自分の考えをまとめることができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①主体性／志望動機・学修計画・将来の進路について自らの意志で計画を立てているか
②表現力／質問内容に対して的確に受け答えができていますか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20 (50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:10～12:30



事前課題に基づく対話型授業

地球環境問題に関するトピックについて、事前課題に基づく対話型授業を実施。

13:30～14:10



対話型授業に関するミニレポート

14:20～



「学びの計画書」に基づく面接

- 1人当たり15分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

先端医療技術に対応できる
臨床工学技士を育成する。

医療現場では、高度医療機器の導入により、医療機器の安全を担保する工学的な専門知識を持つ「臨床工学技士」が必要とされています。生体医工学科では、チーム医療の一員として機器操作を中心とした臨床支援と保守点検・管理を行う臨床工学技士の養成を行っています。先進医療に対応できる高い専門知識を備え、医療人として思いやりがあり、かつ責任感の強い技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題についてプレゼンテーションするための資料としてA4用紙1枚に横長（文字、図表、絵、カラー使用可能）を準備する。



評価 POINT



選考内容

学科独自課題

課 模擬講義及び実技

- ①集中力／積極的な取り組み姿勢で、講義を聞くことができるか
- ②要約力／講義内容の重要な点をまとめることができるか
- ③理解力／講義内容を理解しているか
- ④実行力／講義内容を他者に説明でき、実技課題を行うことができるか



「学びの計画書」に基づく面接 （プレゼンテーションを含む）

- ①構想力／自分の将来に明確なビジョンを持ち、取り組みが具体的であるか
- ②対応力／質問の意図や状況を理解し、対応できたか
- ③理解力／本学科の学びの内容を理解し、将来の目標設定ができているか
- ④発信力／論理的思考に従って発言できているか

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20（50分）



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:00～12:40



模擬講義及び実技

- ①模擬講義／教員による「学科で実際行っている実習」に関連する講義を聴講し、要約をノートにまとめる。
- ②講義説明と実技課題／聴講した講義内容を他者へ説明する。また、関連する実技課題に取り組む。

13:40～



プレゼンテーションを含む「学びの計画書」に基づく面接

- ①本学から送付する課題についてのプレゼンテーション資料をもとに、1人当たり5分のプレゼンテーションを行う。
- ②1人当たり10分程度の個別面接
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。



学びの内容

食品関連産業の発展に貢献できる
スペシャリストを育成する。

“いのち”を育む生命科学の本質について学び、「応用生物」と「食品製造」の2つの専門分野で専門知識を生かす理論と技術を修得します。講義及び実験・実習を通して、社会が直面する諸問題を解決できる実践力とともに、協調性、倫理観、コミュニケーション能力など人間力を備えた技術者を育成します。

事前課題及び事前準備

本学から送付する課題に関して、A4用紙1枚程度にまとめる。



評価 POINT

学科独自課題

課 個別課題

- ①集中力／講義を集中して聴講できているか
- ②要約力／講義内容をノートにまとめることができるか
- ③理解力／講義内容を理解しているか
- ④思考・判断力／自分の考えを論理的にまとめ発信できるか。多面的に物事を考えて判断することができるか
- ⑤協調性／他人の意見を尊重し共通点を求めようと努めているか
- ⑥主体性／食品生命科学科の学びを生かし関連分野の発展に貢献する意思があるか
- ⑦表現力／伝えたいメッセージを相手に分かり易く効果的に伝えることができるか



「学びの計画書」に基づく面接

- ①表現力／自分の考えを正確に文章で表現できるか
- ②理解力／食品生命科学科の学びについて理解しているか
- ③主体性／応用生物分野や食品製造分野に興味を持って学ぶ意欲があるか
- ④知識・技能／本学科の専門知識・技術を学ぶ基礎学力（高校：理科・英語）があるか
- ⑤将来構想／将来、社会人として、応用生物分野や食品製造分野の発展に寄与したい意思があるか



選考内容

試験当日スケジュール

集合時間 9:10

9:30～10:20(50分)



数学の基礎力を測る適性検査

「数学I」

11:00～11:40



模擬講義

- 教員による「食品生命科学科」の学びに関連する講義を聴講し、講義ノートを作成する。

11:50～12:40



グループ討論

- 講義に関連する課題（テーマ）についてグループ討論する。
※受験生が2人以下の場合は、「課題について検討し、まとめた内容を発表」する

13:40～



プレゼンテーションを含む「学びの計画書」に基づく面接

- 「大学で学びたいこと」・「将来の夢」についての3分間プレゼンテーションを行う。
- 「学びの計画書」、「3分間プレゼンテーション」、「午前中の試験」などについての面接を行う。（1人当たり15分程度の個別面接）
なお、志願者数によってはグループ面接に変更する場合があります。
- 面接では、これまでに高校等で学んだ知識・技能に関する質問を含む。

総合型選抜（学科課題型） 入試対策講座

オープン
キャンパス
同日開催！

第1回

令和5年

7.16日

第2回

令和5年

8.20日



各学科の先生がここでしか聞けない
総合型選抜（学科課題型）に関するポイントを解説

オープンキャンパス内で開催される「入試対策講座」では、学科の学びの内容や社会と学びのつながりを知り、自分の将来像を描くうえでの気づきを得ることができます。

※オープンキャンパスへの参加は事前予約が必要です。

YouTube 大学公式チャンネルで
動画を視聴しよう！

令和5年度 進学相談会

今年度も本学が参加する進学相談会が、中四国・九州・近畿などの各エリアで開催予定です。総合型選抜や学部・学科の詳しい内容、就職・資格のことなど、知りたい情報を本学スタッフが詳しく説明します。ぜひご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更となる可能性があります。

開催予定地

中国地方

広島、広島西、東広島、呉、福山、鳥取、松江、岡山

四国地方

松山、高松、高知

九州地方

福岡、大分

近畿地方

大阪、兵庫

詳しくは
コチラ！



詳しい開催情報は、本学webサイトからご確認ください



広島工業大学

工学部 | 情報学部 | 環境学部 | 生命学部 | 大学院

☎0120-165215

〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1